

INFORMATION

No.2019.25

2020年3月

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当検査センターにおきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2020年3月31日(火) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

手びき掲載頁	項目コード	検査項目	検体量(mL)	容器	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
なし	3216	抗ヘリコバクターピロリ抗体[LA]	血清 0.5	①血清用 真空採血管	3~5	80 (免疫)	ラテックス凝集比濁法	10未満(U/mL)	

※検査要項につきましては裏面をご参照ください。

● 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます

手びき掲載頁	項目コード	検査項目	受託中止日
111	4864	抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	2020年3月30日(月) ご依頼分をもって受託中止



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕

従来からの問題点（陰性高値）を無視できると推奨されたピロリ菌抗体検査です。

胃がんの主な発症原因はピロリ菌感染であり、ピロリ菌の感染歴を調べるために、血液による抗ヘリコバクターピロリ抗体検査が広く用いられています。

これまで、ピロリ菌に現在感染している状態を“現感染”、感染していない状態を“未感染”と分けていますが、血液中のピロリ菌抗体検査において、未感染と現感染が混在する問題（陰性高値）がありました。

本検査は、上記の問題点を無視できると日本胃がん予知・診断・治療研究機構から推奨されている試薬を使用しており、より精度が高い検査です。

除菌対象となる現感染者を効率的に把握し、胃がん予防の一助としてご活用ください。

▼疾患との関連

胃がん
ヘリコバクターピロリ感染症

▼関連する主な検査項目

便中ヘリコバクターピロリ抗原
ヘリコバクター感受性検査

▼検査要項

検査項目名	抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕
項目コードNo.	3216
検体量	血清 0.5 mL
容器	①血清用 真空採血管
報告日数	3～5日
検査方法	ラテックス凝集比濁法
基準値	10未満(U/mL)
検査実施料	80点
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	

参考文献

乾 正幸, 他: 日本ヘリコバクター学会誌 19(1):33~42, 2017. (検査方法参考文献)

藤岡 利生, 他: 医学と薬学 43(3):573~579, 2000. (臨床的意義参考文献: ピロリ抗体)